

まつり共演会

期日：10月10日（体育の日）
午後1時～午後7時

会場：市役所柳川庁舎付近と
高畑公園

雨天時は中止

柳川市は、今年3月21日に1市2町が合併して誕生した新しい市です。合併しても、おにぎえや祇園祭、風流など旧市町の郷土芸能は、脈々と受け継がれています。

そこで、郷土芸能などを一堂に会し披露してもらうことで、新市の誕生を市民がともに祝い、喜びを分かち合える機会となる「まつり共演会」を開催します。この合併記念事業は、住民が主体となって実行委員会を組織し企画しました。皆さんのご来場をお待ちしています。

スケジュール（予定）

午後1時～ 市役所柳川庁舎前で開会式。その後高畑公園まで山車や踊り手などがパレード（午後1時30分出発）
午後2時30分～ 高畑公園でまつり共演会。参加団体の紹介を交えながら、郷土芸能を披露してもらいます。
問い合わせは、柳川市合併記念事業実行委員会事務局（市柳川庁舎企画課 内☎73・8111）までどうぞ。



左から、風流（どんきやんきやん）、おにぎえの山車、祇園祭の山車。ほかにも水天宮囃子、日吉太鼓、まほろば雲龍太鼓、沖の石太鼓、よさこい踊りなども共演します

市総合計画策定のための「まちづくりワークショップ」始まる

市総合計画策定のための「まちづくりワークショップ」が8月21日から始まりました。ワークショップは、自分たちが暮らし、働き、学んでいる地域の現状や課題、地域資源を明らかにし、グループで討議しながら、参加者全員でまちづくりについて意見をまとめるというものです。市内を8つのブロックに分け、応募した約150人がそれぞれ日ごろ感じていることや意見を自由に述べ合いました。

矢留公民館で21日開かれた、柳南中ブロックの1回目の会議には12人が参加。事務局から総合計画とワークショップの趣旨説明が行われ、都市・産業・環境・市民、教育・福祉の3グループに分かれて討議。参加者は自己紹介の後、都市・産業部会では「道路の整備」「観光と農業、水産業の横の連携を」などの意見が、環境・市民部会では「下水道の早期整備を」「生ゴミ堆肥の活用を」など、さらに教育・福祉部会では「働く場所が少ない」「地域の集まりに若い世代の参加が少ない」などの意見が出されていました。これらの意見は小さな紙に書き出し、内容別に整理され模造紙に貼り、意見の整理が行われました。

2回目の会議は9月に開かれ、グループごとに提出された意見を実現するための仕組みづくりの検討を行います。ワークショップで出された意見は、提案書の形でまとめ、総合計画の原案づくりに反映していきます。



部会ごとに意見を出し合い、模造紙に貼っていく



内容別に整理された意見

誰でもできる市政への要望 請願や陳情のことを知っていますか

市政について要望があるときは、誰でも市議会に対して請願書や陳情書を提出できます。議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」と呼び、柳川市議会ではそれぞれ次のような取り扱いをしています。

請願 請願は、委員会でも内容を審査し、本会議で採択・不採択の結論を出します。結論が出たものについては、請願者に通知するとともに、採択した請願は、市長などに送付しその実現を図ります。

陳情 陳情は、必要に応じて委員会で審査されます。

作成、提出方法

請願書や陳情書は、請願や陳情者の住所、氏名、要旨、理由、提出年月日に記載して議長あて提出してください。氏名には押印が必要です。

請願書については、1人以上の紹介議員の署名押印を受けてください。道路や水路の改修、拡張などの請願は、事前に担当課と相談し、必要な地図、参考資料などを添付してください。

提出は、正本1部です。請願や陳情書は、議会の開会中、閉会中を問わず、所定の要件が整っていれば受理します。

閉会中に受理した請願や陳情書は、



市議会が開かれる柳川庁舎4階の議場

直近の定例会で、また、定例会開会前に開かれる議会運営委員会開会の前日の午後5時までに受理した請願や陳情書は、その会期中に審査されます。なお、それ以後に提出されたものについては、次の定例会で審査することになります。

請願が採択、不採択の採決があったとき、また継続審査になったときは、文書でお知らせします。議員の任期満了に伴い審議終了となった場合についても文書でお知らせします。

請願や陳情についての問い合わせは、柳川庁舎議会事務局（☎73・8111）へ問い合わせください。

職業相談室を市役所三橋庁舎に開設

より簡単に、スピーディーに 自分に合った仕事を探せます

これまで柳川商工会館にあった「柳川地区高齢者職業相談室」は「柳川市職業相談室」として9月12日（月）、市役所三橋庁舎4階に移転し開設されます。

これまで46歳以上の人を対象として職業相談、職業紹介をしていましたが、今後は全ての年齢の人を対象とします。

また、新たに求人自己検索機を設置し、ハローワーク大牟田と同様にコンピューターによる求人検索ができるようになります。

コンピューターはキーボードやマウスを使わず、指先で触れるだけで操作できるタッチパネル方式なので、パソコンに不慣れな人でも簡単に操作できます。

また、画面に出した求人票を印刷することもできます。

なお来春高校、短大、大学など卒業予定者、障害者の方の職業相



相談室内に求人自己検索システムによるパソコンを設置。操作はタッチパネル方式なので簡単です

談・紹介については、引き続きハローワーク大牟田の専門窓口で相談、紹介します。また、「柳川地区高齢者職業相談室」は移転に併せて業務を終了します。
問い合わせは、ハローワーク大牟田（☎53・1551）まで。

9月12日（月）
オープン